



NEWS ECO

シバハイピング工業株式会社

TEL 052-221-6911 FAX052-201-9681
URL http://www.shibuya-p.com

創刊100号 “News Eco”

は本号、2014年3月号(本号)で記念すべき、累計100号の発行となりました。1号が創刊されたのは平成17年12月15日でした。

名古屋시가環境に配慮した取組を自主的かつ積極的に実施している事業者を対象にした「名古屋市エコ事業所」認定制度への登録申請を目指し、社員の環境問題についての啓蒙の一環としてスタートしたのが創刊のきっかけでした。発行を続けること8年4ヵ月、100号の発行となりました。

現在は名古屋市エコ事業所とISO14001の社内環境教育、ホームページに掲載することによる社外広報(コミュニケーション)の役目も担っています。

100号を記念して過去のニュース・エコを振り返ってみたいと思います。

平成17年12月(創刊号)



12月6日、エコ事業所の現場審査がおこなわれました。社員の皆様のご協力が無事審査は終了しました。今後、年明けに認定審査会が開かれ、6点以上の評価点が得られれば「エコ事業所」と認定されることとなります。今後も環境に配慮した取り組みにご協力をお願いします。さらに、環境に配慮した取り組みをより確実に実践するため、重点目標を決めエコ事業所と取組むたいと考え、月間・週間等の行動目標を設定しますのでご協力をお願いします。

- 〈月間行動目標〉 紙資源の確実な回収
- 〈お知らせ〉 エコドライブ・燃費 3ヵ月ごとの燃費集計のお知らせ (掲載要旨)

平成18年2月(3号)



2月20日名古屋市よりエコ事業所として認定され、認定書が交付されました。

〈認定書〉には
貴事業所は事業活動において環境に配慮した取組を自主的かつ積極的に実施している事業所であると認めエコ事業所として認定したことを証しますとあります。(掲載要旨)

平成18年4月(5号)

四季を感じられるシバヤ構内の動植物の写真を掲載するようになりました。

名古屋市は緑化を推奨し、審査対象にしています。



平成21年1月(50号)



ISO14001認証取得

明けまして、おめでとうございます。

昨年皆様にご協力頂いた成果が1月6日JQAより届きました。2008年12月26日付けで当社の環境マネジメントシステムが認証登録されました。

我々の経営理念である「安全・快適・健康な環境の提供」を今まで以上に強力に推し進めることを可能とするISO9001・14001の両輪をフルに回転させ、お客様の信頼をより確実なものにしたいものです。(掲載要旨)

《内部監査》

今月は内部監査の月です。

年度末で忙しい時期ですが各サイト、現場は監査員と綿密に連絡を取り合い効率の良い監査計画を立ててください。

- ①中間監査で指摘されている事項は解決、確認できましたか
- ②来期に向けての問題点、課題はなんですか

来期の目標が明確になる監査にしましょう！！

《ほんとうに地球は温暖化?》



地球温暖化防止京都会議(1997年12月)で地球温暖化の原因となる、温室効果ガスの削減率を1990年を基準として各国別に定めた、京都議定書が採択されて以来、私たち日本人は国、企業、国民あげて省エネに励んできました。京都議定書の温室効果ガスの削減目標は有名無実化していますが、環境問題といえば地球温暖化、温暖化と言えば温室効果ガス、温室効果ガスと言えばCO₂、CO₂といえば排出削減、省エネ...と、環境問題=省エネと私たちの脳内に刷り込まれています。

総合評価方式の公共工事でも技術提案にCO₂削減の技術提案を求めるものが数多くあります。

私たちは地球が温暖化しており、CO₂を削減することが温暖化対策の大部分であるかのように思い行動してきました。ところが実は間違っていたかの様な発言や論文が目につくようになってきています。

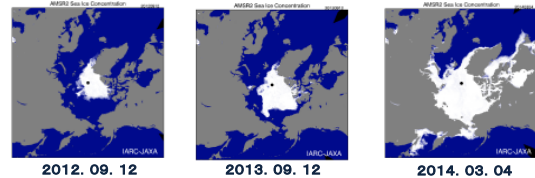
地球は寒冷化している 中部大学武田邦彦教授は「地球は温暖化どころか寒冷化に向かっている。化石燃料をどんどん使って地球を暖めろ」というような場で面白おかしく発言しています。

さらに地球寒冷化説を主張する学者は人間が排出する温室効果ガスと呼ばれるものは地球温暖化への影響はないと断言します。人間社会が排出しているCO₂の量など46億年の地球の歴史、太陽が地球環境に及ぼす影響に比べれば地球環境を左右するほどのことではないといっています。そして、地球の気温変化にもっとも影響を及ぼしているのは「地球を覆う雲の量だ」と主張しています。そして雲の量を決めているのは太陽の活動だということです。

「地球上の雲量は宇宙線量に影響される」という説を1997年、デンマークの宇宙物理学者ヘンリック・スベンスマルクが提唱しました。

雲は、飽和水蒸気に刺激が加わり一気に水蒸気が液化し、大気中の小さな塵を核にして水の微粒子となりできるというものだ。そして、スベンスマルクは宇宙線こそが、雲が生成する最初のきっかけだと主張しました。

太陽活動の指標である黒点は太陽の磁場が強くなると多数出現し、11年周期で増減しています。黒点の増減周期11年からすれば、2012年から2013年にかけて極大期を迎え、沢山の黒点が出現するはずでした。しかし、予想したほどの黒点は出現しませんでした。太陽活動の低下で太陽の磁場が弱くなると、宇宙線が大量に地球に届いて、より沢山の雲が発生するようになり、雲は太陽光線を宇宙に反射するから、その分地球は寒冷化することになるのだそうです。



シロクマさん、安心できましたか?

水循環変動観測衛星「しずく」が撮影した2012年、13年9月と今年3月4日の北極の海氷の様子です。

イギリスのBBC(放送)が「2013年には北極の氷は姿を消す」と報道したことがありました。そして北極の海氷は2012年夏に観測史上最小を記録し、いよいよ2013年の夏、北極の氷は姿を消すと思われましたが、1年前に比べ5割以上も増加に転じました。寒冷化の兆候でしょうか。氷がなくなると生きていけないと言われる北極クマも一安心できたのでしょうか?

3月現在、いつもの冬と同様全面結氷している様子がわかります。毎年冬には全面結氷しますが薄い氷は夏には解けてしまいます。今年の水はどのようなのかは夏にならないと分からないのが現状です。でも、今年の冬が寒かったのも事実.....寒冷化傾向???

「地球は寒冷化している」とする立場に立って一方的に地球寒冷化を取り上げてみました。読み進むと寒冷化に向かっているかもしれないと思ってしまうネ。

でも、私たちはCO₂排出量と地球温暖化を関連付けて行動してきました。そしてCO₂排出削減の行動をとることは温暖化、寒冷化に関係なく「環境に優しい」と感じています。

それぞれの立場で「温暖化」と「寒冷化」を論じている人たちの共通している主張はいずれも大きな気候変動と食糧危機が到来するだろうということです。

人間の力で気候を操ることは不可能でしょう。私たちができることは環境保全のための環境負荷の低減です。

地球の歴史が結果を教えてくれることと思います。